

- 昨日(12月24日)、国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所から、国道3号黒崎バイパスについて、黒崎西ランプの完成により、令和9年度に全線開通する見込みとなったことが発表されました。

※国土交通省の記者発表資料…別紙
- 国道3号黒崎バイパスの完成は、地域や地元企業の皆様にとって、平成3年度の事業着手以来、長年の悲願であります。
- これまで、北九州市は建設促進に向けて、昭和62年にバイパス沿線の地域や地元企業で構成する「黒崎バイパス建設促進期成会」を組織して要望活動を行って参りました。
- 近年の主な要望内容として「黒崎西ランプの早期供用が図られるよう本道路整備予算の確保に加え、新たな企業立地や更なる投資拡大など地域経済の活性化につなげるため、供用時期を明示すること」としていました。
- このバイパスの全線開通は、国道3号や周辺道路の渋滞緩和、地域産業振興や黒崎地区の再生及び自動車専用道路ネットワークの形成等につながると期待しています。



▲国土交通省公表資料参照

＜問合せ先＞ 国道３号黒崎バイパス建設促進期成会事務局(北九州市都市整備局道路計画課内)
担当：泊（係長）、楠根（課長） TEL:093-582-3888 FAX:093-582-2792

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和7年12月24日
北九州国道事務所

国道3号黒崎バイパスが全線開通します。
～黒崎西ランプが令和9年度に完成～

- 国道3号黒崎バイパスは、黒崎駅周辺の国道3号の渋滞を緩和するとともに、北九州都市高速道路と一体となって自動車専用道路ネットワークを形成することにより、地域産業活性化等を目的とした事業です。これまでに、本線全線（春の町ランプ～陣原ランプ）延長5.8kmが開通しています。
- この度、黒崎西ランプ鉄道部の橋梁架設工事が完了したことに伴い、残る工事工程等を精査した結果、黒崎西ランプの完成により、**令和9年度に全線開通する見込み**となりましたので、お知らせいたします。
- 引き続き、一日も早い開通に向け、工事を推進してまいります。

◇ 開通により期待される主な効果

- 激甚化、頻発化する災害に対する道路ネットワークの機能強化
- 生活道路安全性の向上
- 地域活力の向上

【問合せ先】

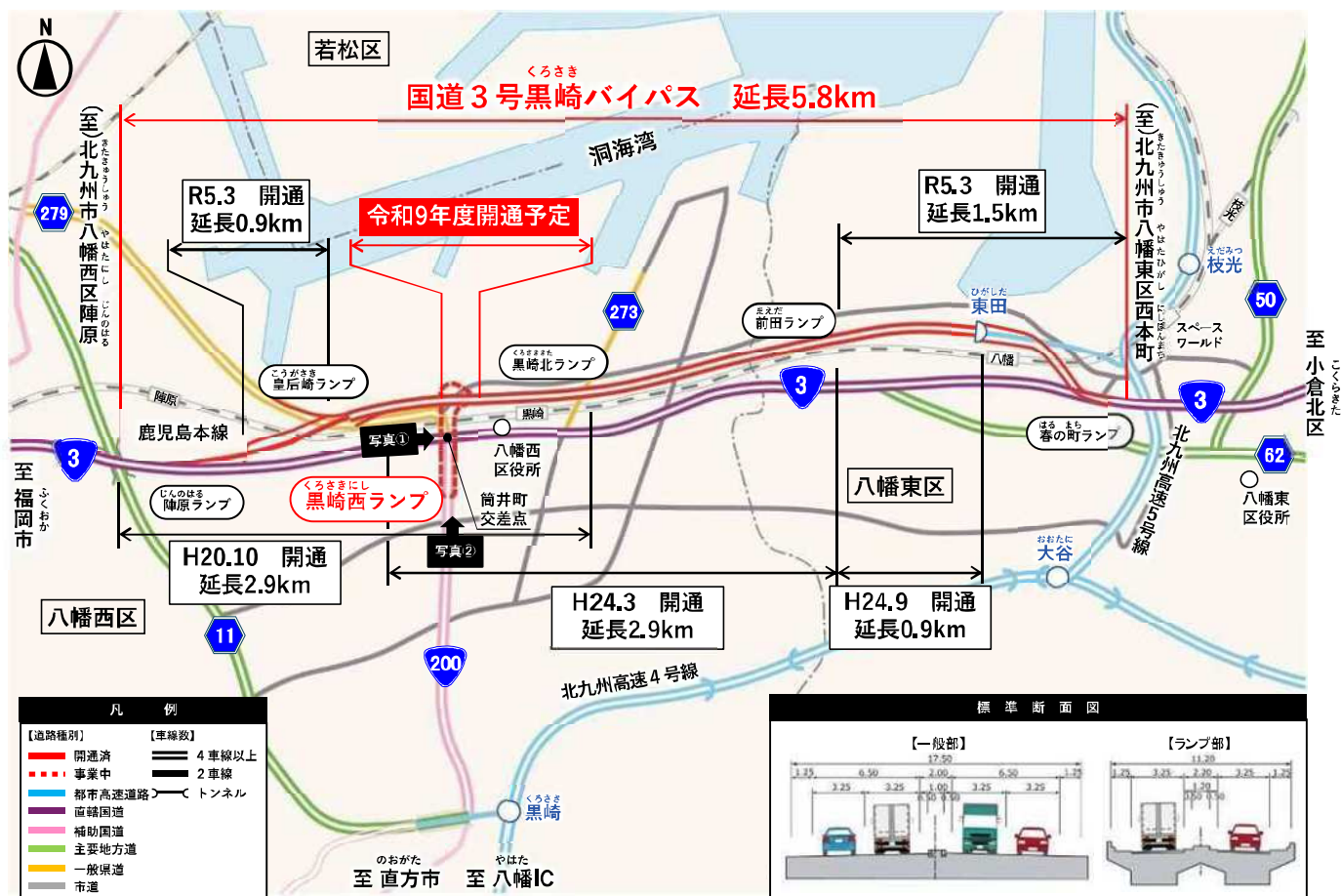
国土交通省 九州地方整備局 北九州国道事務所

技術副所長	柿木	文彦
工務課長	中村	慎吾

TEL : 093-951-4331 (代表) URL : <http://www.qsr.mlit.go.jp/kitakyu/>

国道3号黒崎バイパス

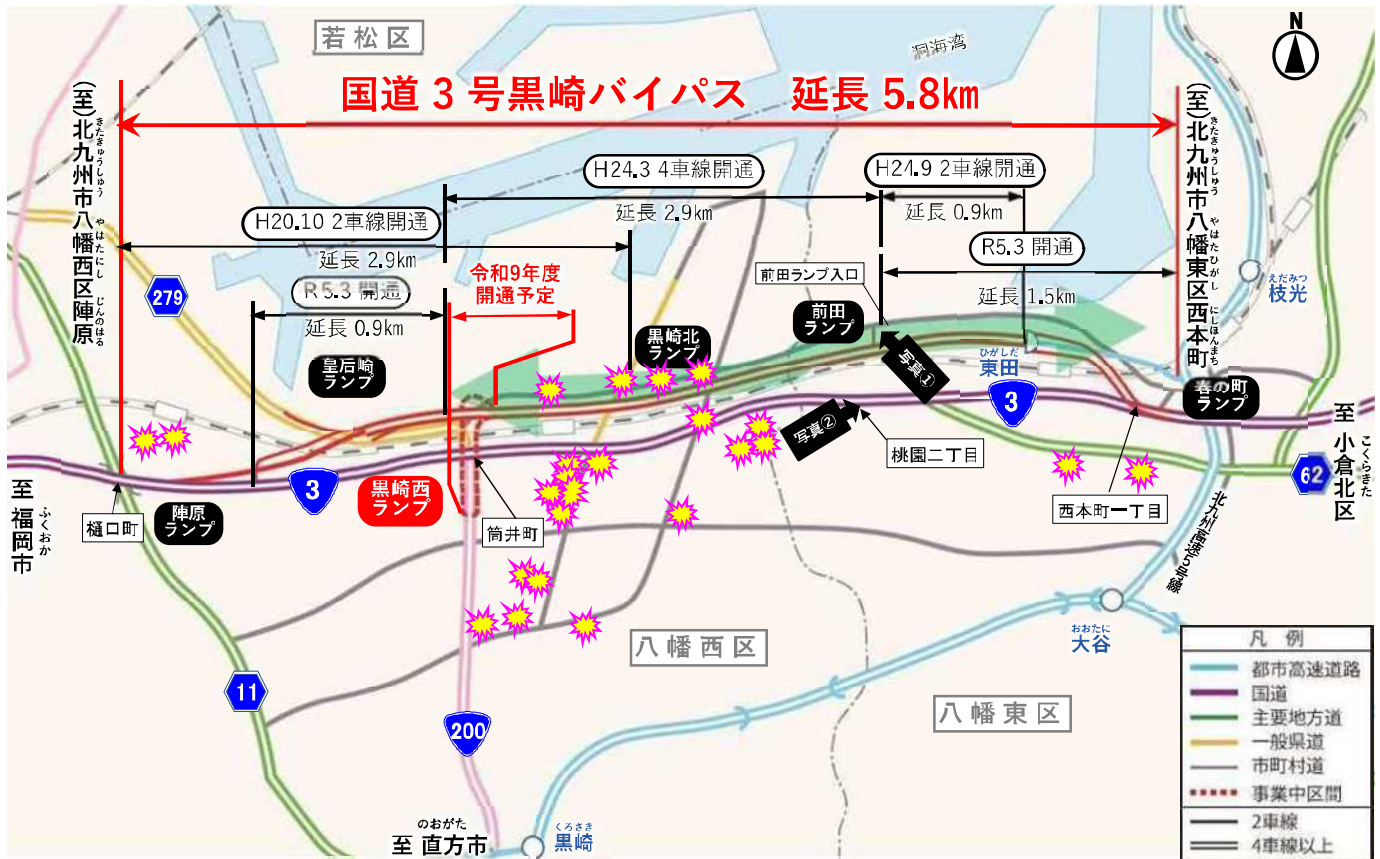
R 7.12時点



▲ 施工状況

激甚化、頻発化する災害に対する道路ネットワークの機能強化

- 黒崎・八幡地区周辺では、これまでの豪雨による内水被害や道路冠水により、小倉方面～福岡・直方市方面間の往来など、車両通行に支障が発生。
- 近年、激甚化・頻発化する豪雨災害に対して、これまでの段階的な供用にくわえ、黒崎西ランプの供用により、国道200号からの乗り入れが可能になることで、更なる道路ネットワークの機能強化が図られる。



 : 内水被害発生個所 (H19年度以降)
 * 北九州市ハザードマップ (令和5年改訂版) より

 : 通行車両動線

道路冠水の発生状況



▲ 前田ランプ入口における冠水状況 (R7.8)



▲ 国道3号桃園2丁目交差点付近での冠水状況 (H27.8)

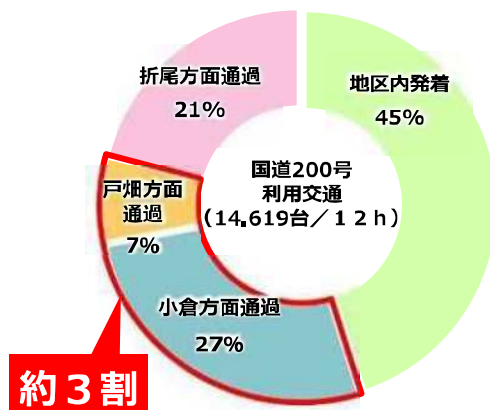
生活道路安全性の向上

- 国道3号以南の黒崎・八幡地区では、小・中学校を中心にゾーン30やゾーン30プラスなど生活道路事故対策に取り組んでいるが、国道200号利用交通の約3割は同地区内を通過しており、生活道路の交通環境改善が望まれている。
- 黒崎西ランプの供用により、通過交通が排除され、交通安全性の向上が期待される。



※ゾーン30：最高速度30km/hの区域規制を導入し、生活道路における速度抑制を図る区域
 ゾーン30プラス：最高速度30km/hの区域規制「ゾーン30」とハンプ等物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域

▼国道200号断面の利用交通内訳



○黒崎西ランプが整備されると、通過交通が黒崎バイパス利用へ転換することでバイパスと一般道との差別化が図られ、**走行環境の改善**が期待される。



交通事業者

資料) ETC2.0データ (R6.10平口) より集計
 交通量: R3全国道路・街路交通情勢調査

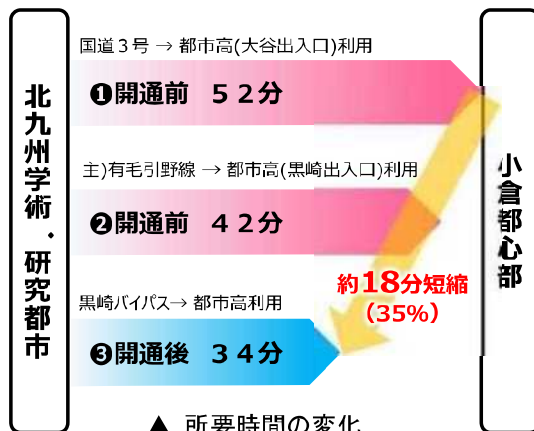
資料) 交通事業者ヒアリング結果 (R7.5)

地域活力の向上

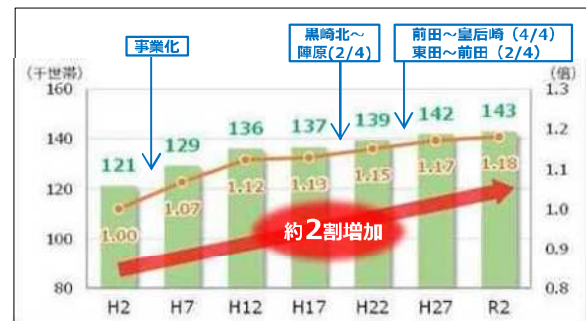
- 黒崎バイパスの部分供用以降、沿線地域から小倉都心部や物流拠点へのアクセスが向上した結果、新たに94社の企業が進出するなど、地域活力の向上に寄与している。
- 黒崎バイパス沿線には北九州市が誘致活動を行う遊休地や分譲中の共同住宅があり、今後さらなる企業進出と世帯数の増加が期待される。



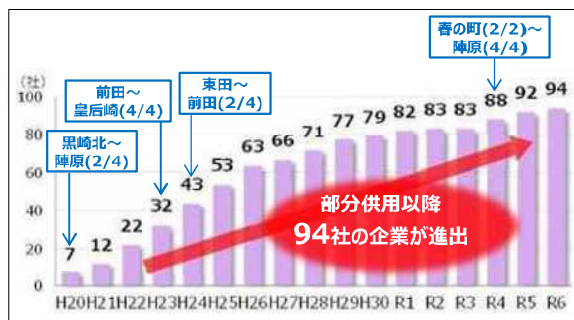
資料) 北九州市提供資料を基に整理



資料) 開通前: I122全国道路・街路交通情勢調査
開通後: R3全国道路・街路交通情勢調査

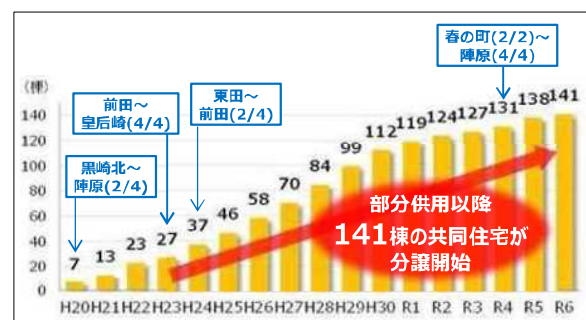


資料) 国勢調査



▲ 進出企業の推移

[黒崎バイパスのランプ10分圏内] 資料) 北九州市提供資料



▲ 共同住宅(分譲)の推移

[黒崎バイパスのランプ10分圏内] 資料) 北九州市提供資料

市長コメント

〔 国道3号黒崎バイパスが全線開通します。
～黒崎西ランプが令和9年度に完成～ 〕

- ・昨日、国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所から、国道3号黒崎バイパスが、黒崎西ランプの完成により、令和9年度に全線開通する見込みとなったと発表されました。
- ・国道3号黒崎バイパスの完成は、地域や地元企業の皆様にとって、平成3年度の事業着手以来、長年の悲願でした。
- ・供用時期の明示については、地域や地元企業などからなる「黒崎バイパス建設促進期成会」で、要望活動を毎年行うなど、強く待ち望んでいたものであり、大変嬉しく思います。
- ・これもひとえに地域や地元企業の皆様、関係者の皆様の多大なるご協力・ご支援の賜物です。心より深く感謝申し上げます。
- ・今回、供用時期が明示されることで、新たな企業の進出や住宅等の建設促進など、投資の拡大、地域経済の活性化につながるものと確信しています。
- ・北九州市の発展をさらに加速させていくため、一日でも早い全線開通に向けて、関係する皆様と、より一層強固に連携し、一丸となり、建設促進に全力を尽くしてまいります。